

初めてのセミナー。 休日は「ロ寝」から生まれ変わった僕

読書はとても安価に優れた知識を吸収できる手段だと思えます。本田直之さんも大ヒット作『レバレッジ・リーディング』（東洋経済新報社）で以下のように書かれています。

「ビジネス書の値段は、だいたい11000〜18000円です。仮に1冊15000円とし

ましよう。この15000円の本から学んだことをビジネスに生かせば、元が取れるどころか、10倍、いや1000倍の利益が返ってきます。これはわたし自身や周囲の成功者の実績から弾き出した数値です」

ブログを書くようになってから僕は貪るようにビジネス書を乱読しました。カラカラに乾いた地面に水をまいた時のように僕は本に書かれていることを吸収していきました。

そして読書経験よりもさらにコストパフォーマンスが良いのが、セミナーへの参加だと思っています。ただし「良質の」という条件が付きませんが。

2010年5月に、僕は生まれて初めてセミナーに出席しました。奥さんが勧めてくれて、一緒に参加しました。

僕はそれまで一度たりとも自費でセミナーや勉強会などに参加したことがない人間でした。だめサラリーマンの典型で、休日は遅い時間まで布団の中でゴロゴロして屋前に起き出し、テレビをぼんやり眺めつつダラダラして、お風呂飯ともにお酒を飲み始め、そのまま夜までだらだらと飲み続ける。そんな週末ばかりを送っていました。

参加させていただいたのは、作家で営業コンサルタントでもある森川滋之さんの「自分軸セミナー」でした。アットホームな雰囲気の中で、「自分のやりたいことは何なのか？自分の人生における軸はなんなのか？」を考える機会をいただきました。

参加者から誰か一人をサンプルにして軸を見つけてくださるというので、すかさず挙手をしました。森川さんに色々質問していただき答えていくうちに、自分の中が整理されて、自分軸が見えてきました。その時に現われてきた「なりたい自分」、つまり「自分軸」は「プログラマーでした（笑）」。

立花岳志氏著『ノマドワーカーという生き方』より

注6 <http://www.itbt.biz/>